

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童通所支援事業所 青い鳥		公表日		令和 8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を上回る十分なスペースを確保し、安全かつ適切な環境のもとで支援を実施しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用児童の人数や特性を踏まえ、適正な人員配置により支援体制を整えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		児童の理解しやすさに配慮した環境設定を行い、特性に応じて室内配置等を柔軟に見直しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		衛生面に配慮し、児童が快適に過ごせるよう活動内容に応じた環境整備を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		安心して過ごせるよう、状況に応じて個別に利用できる空間を確保しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善に関しては、全職員が関与し、継続的な見直しに取り組んでおります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートやご意見を収集し、その内容をサービス向上に反映しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員からの意見を定期的に収集し、業務改善へ活かしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は未実施ですが、多様な意見を参考にしながら改善に努めております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修機会を設け、職員の専門性向上を図っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは作成しており、弊社HP内にて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを実施し、児童および保護者のニーズを踏まえた計画を策定しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員間で協議を行い、共通認識のもと計画を作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画は職員間で共有し、それに基づいた支援を実施しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各種アセスメント手法を活用し、児童の行動や特性の把握に努めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		将来を見据え、各支援領域を踏まえた具体的な内容を計画に反映しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容については職員全体で検討し、企画しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	児童の特性に応じた活動を実施しておりますが、一部において内容の固定化が見られるため、改善に努めております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		日々の記録をもとに、個別および集団活動を組み合わせ合わせた支援を行っております。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打合せを行い、当日の内容や役割分担を確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後には振り返りを実施し、情報共有と意見交換を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を徹底し、支援の質の向上に活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを通じて、必要に応じた計画の見直しを実施しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		複数の基本活動を組み合わせた支援を実施しております。	地域交流については活動数が少ないですが、活動数を増やしていく計画を検討しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童の意思を尊重し、自己選択の機会を取り入れた支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者および児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて他職員も関与しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、支援体制の構築に努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校等との情報共有および連絡調整を適切に行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		関係施設との情報共有を通じて、相互理解の促進に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行時には支援内容等の情報提供を適宜行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて児童発達支援センターと連携し、助言等を受けております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	日常的な交流はありませんが、課外活動時に他児との関わりの機会があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	現時点では協議会への参加は行っておりません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		家庭と事業所間で情報共有を行い、児童の理解を深めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		集団での実施は行っておりませんが、個別に応じた家族支援を提供しております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時等に丁寧な説明を行い、不明点については随時対応しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童および保護者の意向を確認し、最善の利益を考慮した支援を提供しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画内容について説明を行い、同意を得た上で支援を実施しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談には面談や電話等で対応し、必要な助言を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は実施しておりませんが、個別ニーズに応じた支援を行っております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応体制を整備し、迅速かつ適切に対応しております。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	活動内容や予定については、書面や口頭で情報提供を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理を徹底し、適切に取り扱っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童および保護者の状況に応じた方法で情報伝達を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民の招待は行っておりませんが、地域に配慮した活動を実施しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、職員および保護者へ周知しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCPは未策定ですが、災害時を想定した訓練を定期的の実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者から情報を得て、適切な対応を行っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示に基づき、アレルギー対応を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に関する研修等を実施し、安全確保に努めております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の内容について、保護者へ適切に周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を共有し、再発防止策の検討を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を実施し、適切な対応体制を整えております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束については事前に十分な説明と同意を得た上で、計画に明記しております。	